

## 3. 研究評価

### 3.1. 気象研究所評議委員会

#### 役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の長期研究計画の策定に関する助言」及び「気象研究所が実施する研究課題の評価に関する報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、特別研究費ならびに気候変動予測研究費による研究課題（特別研究）の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評価委員会」の委員を選出して外部評価を実施している。

平成16年度気象研究所評議員名簿（所属、役職等は平成16年4月1日現在。五十音順、敬称略）

委員長	平 啓介	琉球大学 監事
委員	石田瑞穂	(独) 防災科学技術研究所 研究主監
	木田秀次	京都大学大学院 理学研究科地球惑星科学専攻 教授
	小室広佐子	東京国際大学 国際関係学部 助教授
	田中 佐	宇宙開発事業団 地球観測利用推進センター主任研究員
	田中正之	東北工業大学 副学長
	泊 次郎	元 朝日新聞社 編集委員
	中島映至	東京大学 気候システム研究センター長
	廣井 脩	東京大学 情報学環教授
	松山優治	東京水産大学 海洋科学部長
	安成哲三	名古屋大学 地球水循環研究センター 教授
	渡辺秀文	東京大学 地震研究所 教授

#### 平成16年度の開催状況

平成16年度は、次のとおり第15回～第18回の評議委員会を開催した。このうち、第15回はつくば（気象研究所）、第17回は東京（KKRホテル東京）で開催し、第16回、第18回については書面開催とした。

- ・ 第15回評議委員会 平成16年9月29日
- ・ 第16回評議委員会 平成17年1月21日（書面）
- ・ 第17回評議委員会 平成17年2月2日
- ・ 第18回評議委員会 平成17年3月31日（書面）

#### 第15回評議委員会

日 時：平成16年9月29日（水）13：30～16：30

場 所：気象研究所 第一共用室

出席者

（評議委員）

平 啓介 委員長、石田瑞穂 委員、小室広佐子 委員、田中 佐 委員、田中正之 委員、  
泊 次郎 委員、中島映至 委員、松山優治 委員、安成哲三 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（9名内代理2名）、他関係官

## 議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 評議委員長挨拶
- (3) 新任研究部長紹介
- (4) 議題1. 特別研究の事後、中間評価について
- (5) 議題2. 特別研究の評価フォーマットの変更について
- (6) 議題3. 気象研究所におけるピアレビュー制度の導入について
- (7) 議題4. 次期気象研究所中長期研究計画について
- (8) 今後のスケジュール
- (9) その他

## 会議経過

- ・ 議題1では、平委員長より、特別研究「東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究」の事後評価、および「火山活動評価手法の開発研究」に関する中間評価の評価結果に関する報告があった。
- ・ 議題2では、気象研究所より、特別研究の評価フォーマットの変更案の説明を行った。評議委員会での議論を踏まえ、中間評価および、事後評価の評価フォーマットについて再度検討を行うこととなった。
- ・ 議題3では、気象研究所より、気象研究所におけるピアレビュー制度の導入について説明を行った。評議委員会での議論を踏まえ、実施方法について再度検討を行うこととなった。
- ・ 議題4では、気象研究所より、次期気象研究所中長期研究計画の策定に関する説明があり、策定の方向性については、概ね評議委員より了承された。  
次期気象研究所の計画案および、特別研究の評価フォーマット、ピアレビューについては、評議委員会での議論を踏まえ、次回評議委員会で提案を行うこととした。

## 第16回評議委員会

意見集約日：平成17年1月21日

評議委員：平 啓介 委員長、安成哲三 委員、小室広佐子 委員、松山優治 委員、石田瑞穂 委員、  
中島映至 委員、田中 佐 委員、田中 正之 委員、渡辺秀文 委員、泊 次郎 委員、  
木田秀次 委員

## 議事

## 議題1 気象研究所中期研究計画について

- ・ 多くの助言、指摘事項をいただいた。

## 議題2 研究評価体制について

## 特別研究の評価フォーマットの修正について

- ・ 第15回までの意見を受けた修正案が全員一致で了承された。

## 専門家による科学的知見に基づく検討について

- ・ 実施方法について第15回までの意見を受けた修正案が全員一致で了承された。

## 議題3 特別研究に関わる評価委員の選出について

- ・ 全員一致で、平委員長、石田委員、小室委員、田中委員、泊委員、渡辺委員が選任された。専門家による科学的知見については、平評議委員長が、井口正人氏（京大防災研）、須藤 茂氏（産総研）を指名した。

### 第17回評議委員会

日 時： 平成16年2月2日（水）13：30～16：30

場 所： KKRホテル東京

出席者

（評議委員）

平 啓介 委員長、小室広佐子 委員、田中正之 委員、泊 次郎 委員、中島映至 委員、  
松山優治 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（9名）、他関係官

### 議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 評議委員長挨拶
- (3) 議題1．気象研究所中期研究計画について（協議）
- (4) 議題2．新規融合型経常研究について（協議）
- (5) 議題3．融合型経常研究の進捗について（報告）
- (6) 議題4．平成17年度気象研究所予算の内示額について（報告）
- (7) 今後のスケジュール
- (8) その他

### 会議経過

- ・ 議題1では、企画室長より説明した気象研究所中期研究計画（案）に対して評議委員から、具体的目標の見直し時期についての質問、及び国際貢献に関する記述方法への意見があった。評議委員の意見に対しては適宜研究計画に反映することを回答し、中期研究計画案の了承を得た。
- ・ 議題2では、新規3課題の概要を説明し、各研究課題に関し助言をいただいた。評議委員の助言に対しては適宜研究計画に反映することを回答し、新規計画について了承を得た。
- ・ 議題3では、平成16年度から開始した融合型研究課題（8課題）について企画室長より進捗状況を報告した。
- ・ 議題4では、企画室長より、平成17年度の予算について報告した。

### 第18回評議委員会

報告日：平成17年3月31日

評議委員：平 啓介 委員長、石田瑞穂 委員、木田秀次 委員、小室広佐子 委員、田中 佐 委員、  
田中正之 委員、泊 次郎 委員、中島映至 委員、廣井 脩 委員、松山優治 委員、  
安成哲三 委員、渡辺秀文 委員

### 議事

議題1．気象研究所中期研究計画について（報告）

- ・ 第17回までの議論を受けて策定した気象研究所中期研究計画について報告した。

議題2．特別研究に関わる評価結果について（報告）

- ・ 平成18年度から開始予定の特別研究「火山活動評価手法の高度化に基づく火山活動度のレベル化に関する研究（仮題）」の事前評価結果について報告した。

## 3.2. 気象研究所評価委員会

### 役 割

気象研究所評価委員会は、気象研究所の実施する研究課題の外部評価を行うために設置されている委員会である。評価委員会の構成員は、評価の対象となる研究課題に応じて、気象研究所評議委員から選出される。

### 開催状況

平成16年度は、特別研究費による研究課題の評価として、評価委員会を2回開催し、3課題を評価した。特別研究事前評価においては、第16回評議委員会で承認された専門家による科学的知見に基づく検討を導入した。

また、平成15年度におこなった、気候変動予測研究費による研究課題の事前評価結果をとりまとめた。

### 事前評価

研究課題名：わが国の温暖化影響評価に資するための気候変化予測に関する研究（仮題）

研究期間：平成17年度～平成21年度

評価日：平成16年4月19日（評価委員会は平成15年度実施）

評価委員：平 啓介 委員長、木田秀次 委員、小室広佐子 委員、田中 正之 委員、中島映至 委員

評価結果：計画の修正は必要なく、実施すべきとの評価となった。

### 事後評価

研究課題名：地震発生過程の詳細なモデリングによる東海地震発生 の推定精度向上に関する研究

研究期間：平成11年度～平成15年度

評価日：平成16年8月2日

評価委員：平 啓介 委員長、石田瑞穂 委員、小室広佐子 委員、田中 正之 委員、泊 次郎 委員、渡辺秀文 委員

評価結果：非常に優れた研究であったとの評価となった。

### 中間評価

研究課題名：火山活動評価手法の開発研究

研究期間：平成13年度～平成17年度

評価日：平成16年8月2日

評価委員：平 啓介 委員長、石田瑞穂 委員、小室広佐子 委員、田中 正之 委員、泊 次郎 委員、渡辺秀文 委員

評価結果：計画の修正は必要なく、継続すべきとの評価となった。

### 事前評価

研究課題名：火山活動評価手法の高度化に基づく火山活動度レベル化に関する研究（仮題）

研究期間：平成18年度～平成22年度

評価日：平成17年3月4日

評価委員：平 啓介 委員長、石田瑞穂 委員、小室広佐子 委員、田中 正之 委員、泊 次郎 委員、渡辺秀文 委員

科学的知見の提供者：井口正人氏（京都大学防災研究所）、須藤 茂氏（産業技術総合研究所）

評価結果：計画の修正は必要なく、実施すべきとの評価となった。